激務こなす気力失う

解説　安倍晋三首相が辞任する意向を固めたのは、自身の体調不良によってこれ以上重責を担い続けるのは不可能と判断したためだ。新型コロナウイルス対応などで求心力が低下し、政権運営で結果を出すのが困難になったことも影響した。景気低迷からの脱出に道筋を示さないままの退場となる。主導した来年夏の東京五輪・パラリンピックも見届けない。

首相の自民党総裁任期は来年9月まで。黒川弘務・前東京高検検事長の賭けマージャン問題など不祥事に加え、コロナ対応の不手際で内閣支持率が下落傾向にある中、内閣改造や衆院解散・総選挙で政権浮揚を図る案も残されていた。

しかしこれまで維持してきた健康がすぐれなくなり、さまざまな意見、批判を受けながら首相の激務をこなしていくだけの気力を大きく失ったとの見方が出ている。

憲法改正や北朝鮮拉致問題の解決、北方領土返還など自身が掲げた課題の解決が実現できず、政治目標を見いだせなくなったことが辞意を後押しした可能性もある。

新型コロナを巡っては初動対応が後手に回り、経済対策では支援の遅れが指摘された。持続化給付金の委託事務では「丸投げで不透明」だと批判され「国民との意識の乖離」も浮き彫りとなっていた。

2017年10月の衆院選で、開票が進み、当確のバラが並ぶ自民党本部で笑顔を見せる安倍首相＝東京・永田町

第２次内閣から７年半

連続在職歴代１位

第２次安倍政権以降の歩み

年	月日	出来事
2012年	12月26日	第２次安倍内閣発足
13年	7月21日	参院選で自民党圧勝
	12月６日	特定秘密保護法成立
14年	4月１日	消費税率８%に引き上げ
	7月１日	集団的自衛権行使容認を閣議決定
	12月14日	衆院選で与党勝利
15年	9月19日	安全保障関連法成立
16年	7月10日	参院選で与党勝利
17年	10月22日	衆院選で自民党圧勝
18年	6月４日	財務省が森友学園決裁文書改ざんの調査報告書発表
19年	7月21日	参院選で与党勝利
	10月１日	消費税率10%に引き上げ
20年	3月24日	東京五輪１年延期決定
	8月17日	首相が日帰り検診
	24日	再受診
	28日	首相が辞意

安倍首相語録

状況はコントロールされている
2013年９月、福島第１原発の汚染水漏れに

バイ・マイ・アベノミクス
９月、米国で講演

時代に合わなくなった憲法の条文もある。変えていく必要がある
15年３月、国会答弁

戦争に関わりのない世代に謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない
８月、戦後70年談話発表の記者会見

私や妻、事務所が関わっていれば首相も国会議員も辞める
17年２月、森友学園問題で

こんな人たちに負けるわけにはいかない
７月、「安倍辞めろ」とやじを飛ばされた東京都議選の応援演説

悪夢のような民主党政権の時代に戻すわけにはいかない
19年２月、自民党大会

2017年２月、日米首脳会談でトランプ米大統領（左）の出迎えを受ける安倍首相＝ワシントンのホワイトハウス（ロイター＝共同）

2016年８月、マリオに扮（ふん）し、赤いボールを手に五輪閉会式に登場した安倍首相＝リオデジャネイロ（ロイター＝共同）

自民党本部に入る安倍首相＝28日午後２時１分、東京・永田町